

ヨコとタテの建築論

モダン・ヒューマンとしての私たちと建築をめぐる10講

青井哲人 著

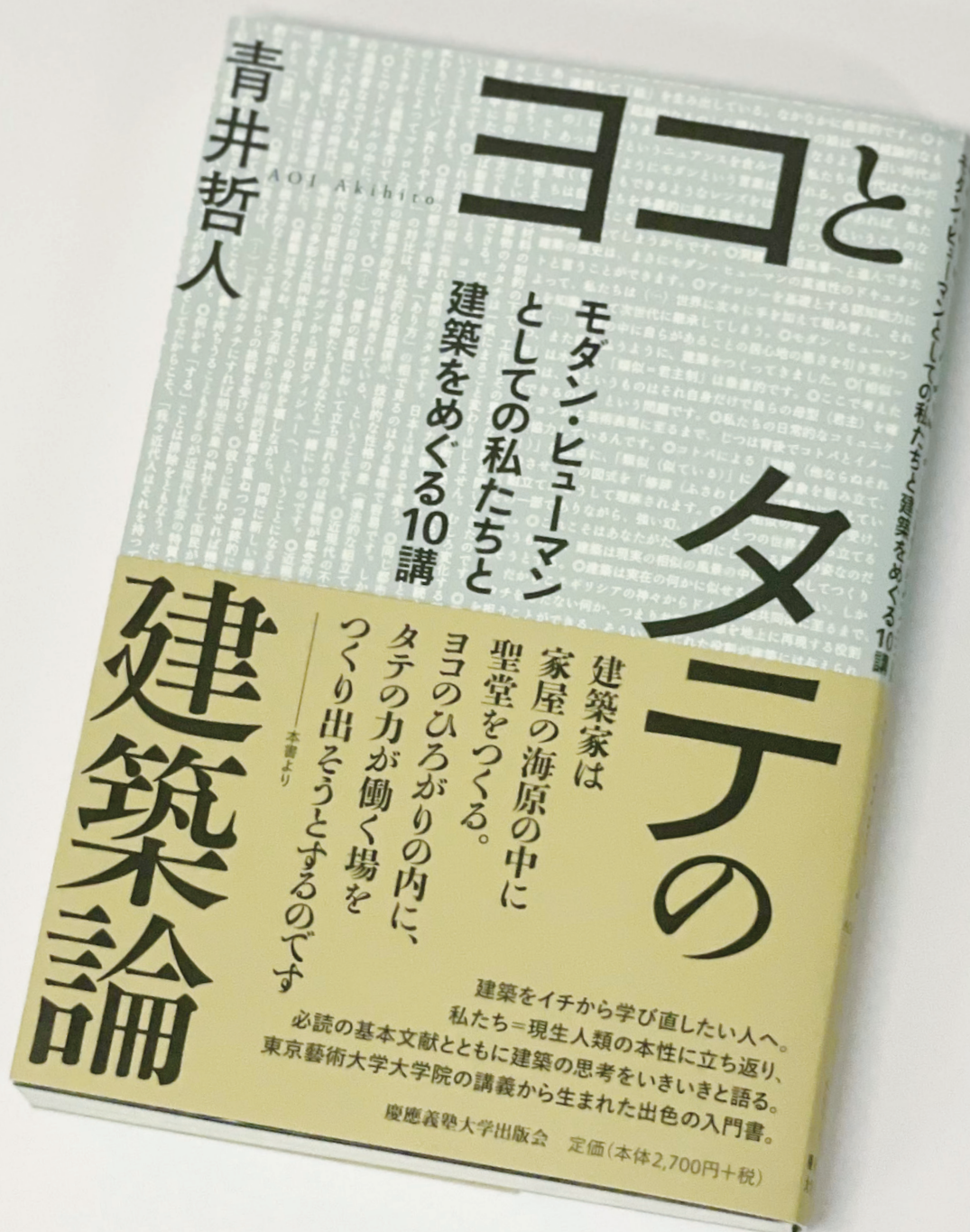
四六判／並製／304頁

初版年月日:2023/01/30

ISBN:978-4-7664-2860-5 C3052

定価 2,970円(本体 2,700円)

東京藝術大学大学院での講義から生まれた
出色の入門書



当たり前をじっくり考え直すこと、学び直すこと。

私たち=現生人類の本性に立ち返り、建築の思考をいきいきと語る。

相似の海としての「建物」の広がりから、「建築」はいかに世界と未来の幻視を立ち上げるか——。

- ・いま建築を考える上での基本を、講義形式でわかりやすく語る入門書！
- ・より広く、発展的に学ぶための分野横断的な文献案内も充実。
- ・豊富な図版と脚注を掲載することで、より深い理解を促す。
- ・初学者から大学院生まで幅広い層に開かれたオリジナルな建築論！

（図1）「闇夜の心臓」ラヌー・カネ ですが、ここでは誰もが知るフランスのラスコーを例にとります。生物学的には私たちと同じサビエスたちから約2万年前に描いた絵です。彼らが絵を描くときに働いていた基本的な認知メカニズムは、私たちに変わっていません。たとえば、犀牛の広間として知られるホール状の空間に描き上げられ出ようとする動物たちの絵。物質的な素材として見るなら、それはカルシウムを多く含む岩盤の表面で、諸種の動物として水を燃焼してできた炭でしるかもしれませんが、それらがそれ以上のものだったことは疑いようがない。つまり、それを描いた者たちの目には、こうした素材の集まりが、たとえばパイソンに儼然な面を見えませんでした。今日の私たちにこそそうに見え、それは否定しがたい。彼らも私らも同じように、集合A（岩盤・動物と炭を、集合B（パイソンの群れ）に分けることができた デヴィッド・ルイス・ウィリアムズ「洞窟のなかの心」（香港版、講談社、2012年） 第1講 互換と累進 015	異なるカテゴリーに属するものを繋げる さつとくだが、旧石器時代の洞窟壁画の画家たちには登場願いましょう。興味深い洞窟は数々あり 第1講 Lecture 1: Compatible and Progressive 互換と累進——モダン・ヒューマンの力のぎこちなさ 本書の著者 哲学者・洞窟——心イノリのアノロジ——カネ・ラヌー、1968年 五十嵐・ヤン（なん）洞窟に描かれた動物のク——洞窟にはまなまの洞窟」著者、カネ・ラヌー 鳥居三「はたの絵」——本選出展作品（2018年） 中津川「鳥居三へ——カイ・フー・フー」洞窟に描かれた動物のク——洞窟にはまなまの洞窟」著者、カネ・ラヌー 1 アナロジの曲芸 第1部 カコトタテ 014
--	--

「デザインされるべきカタチに対して、それが適合し、帰属しなければならないあらゆる条件がコンテキストです。」

抜き書きノート [作=建築家] ○こうしたあなたの得意な住居環境の繰り返しが、主人の身体と連綿して「絵」を生み出している。なかなか曲芸的です。……016 ○トリスの絵は「超絶的なもの」に固執し、ヒトの絵は「超絶的なもの」に固執する。……021 ○これは以前の頃の遠くのような古い時代があったのだというニュアンスを含みつつ、私たちの時代はたかだか、というようにモダンという言葉は使われる。……023 ○洞窟の尺度を短くも長くもできるようなレンズをはめたメガネがあれば、私たちは自分たちを多義的に捉え直せる。……023 ○このどういふことのないプロセスこそが重要なものである。なぜならつくる契機は断絶に生み出されてしまうからです。……028 ○洞窟から超常へと進んできた建築の歴史は、まさにモダン・ヒューマンの進化的ドキュメントと言うことができます。……032 ○アナロジを基礎とする認知能力によって、私たちは（一）世界に次々に手を加えて組み替え、それらを知識として次世代に継承してしまふ。……033 ○モダン・ヒューマンは（二）世界の中に自らがあることを保ち、その保ちを引受けつつ、また振り払うように、建築をつくってきた。……034 ○「相似—面」は水平的、「類似—君主制」は垂直的です。……043 ○ここで考えたのは、絵というものはそれ自身だけ自分の世界（世界）を規定できるのか、という問題です。……044 ○私たちの日常のコミュニケーションから芸術表現に至るまで、つまり背後でコトバとイメージが協力しているんです。……046 ○コトバによる「排除（ぬきだされたり）」を基点に、「類似（似ている）」による表象を組み立て、交差させ、この図式を「修飾（よそおい）」で豊かに変えていく（組立て）がこうして展開されます。……055 ○この相似の論を引き受け、その一部でありながら、強い力、もうひとつの世界を打ち立てること。……056 ○これはこれはおなたの大切にしている理想の形なのではないでしょうか。建築は現実の相似の風景の中に何となく出てくります。……058 ○建築は現実の何かに似ることが難しい。しかし、だからこそアジアの神々からドイツ国民共同体に至るまで、カタチをなさない何か、つまり共同の理想を地上に再現する役割を担うことができる。……060	そういっただけで役割が建築には与えられてきたのではないのでしょうか。 ○それは求めるが、Fを決める条件を十割は与えてくれない。目によってそれを想像させる必要はない。そういう働きと、それでそのFを決めるのが建築家です。……059 ○「相似」の論の全体は、この私を分けるよる命（バグ）を考へるのです。……100 ○「つより建築とは（一）美しい建築物を大地に根ざることによって、世界の秩序とはこれだ。（二）と人々に宣言するもの」なのですね。……070 ○これによって建築は、技術や労働といった事柄を超えて、世界への哲学、私たちを取り巻くこの世界がどのように制作され、それはどこまで完結の力を体現する技芸となっていくのです。……072 ○比例という見方は、この世界を、大きくという階層的レベルと、大きくという比という階層的レベルとに階層化する働き（88）を持ちます。……076 ○これはデザイン的に階層化であり、しかし結果的な適応であり、つまり移移学的にはすくなくとも。……079 ○数は、建築が建築であるための基礎であり重要なのです。……081 ○洞窟論と組織論はいつもタテを組むのです。……089 ○建築物論は、カタチこそが機能な関係への振、つまり都市のねばりになりうるといふイタリア的な信念です。……094 ○都市型建築物の類型なんて無限にありとて、じつはそうでもないのです。……096 ○整理すると、ティッシュ（洞窟）→エルガン（洞窟）→コルプス（身体）、フォーム（身体）→ファンタジー（洞窟）→パブリシティ（人知）に関わっている。……100 ○じつは建物という細胞たちのまわっているその中、あの不気味なヤツが潜んでいるのです。……103 ○建築家はそこ内に入り込み、ときどき必要に応じて文書を取り出し、読み込み、往復を繰り返して元の位置に戻す。そういうアーキテクトな暮らしかもしれません。……106 ○なるもの—事実でありながら、確たる手帳のないもの。それが都市であり、歴史です。……111 ○かつてヒトの仕事は、地球が与えてくれる材料の量で縛られて、ヒトの技術もそれら材料の制約の中で、工作はその意を世界を開いてきたのです。……115 ○基本類型はたつたのふたつ！そして、固いという建物の機械論的な類型もこれに対応してしまふ。すばらしい！……118 ○建物のカタチは（一）にまよることとありはしません。むしろ変化する部分は建物
---	--

巻末には、本文中の印象的な文言を抜粋した「抜き書きノート」を収載。

目次

第1部 ヨコとタテ——ヒトは世界を組み上げる（モダン・ヒューマン論）

- 第1講 互換と累進——モダン・ヒューマン、その力のぎこちなさ
- 第2講 形態と内容——地上の幻
- 第3講 相対と絶対——数と幾何学の魔法

第2部 ヨコにひろがる沃野——ありふれて、美しい（ビルト・ティッシュ論）

- 第4講 類型と組織——都市という織物の単位と積層
- 第5講 自然と人工——なること／つくることは不思議な関係
- 第6講 平衡と進化——わたしたちは想念のなかで都市建築を分解する

第3部 タテはいかに可能か——バラバラな世界に（アーキテクト論）

- 第7講 饒舌と沈黙——喧騒のなかのサイレンス
- 第8講 過去と未来——世界が壊れ、組み変わっていくとき
- 第9講 単純と複雑——多面的な世界をそのままに

結語

- 第10講 能動と受動——むすびにかえて
- 抜き書きノート

慶應義塾大学出版会 <https://www.keio-up.co.jp/>

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30 TEL 03-3451-3584 / FAX 03-3451-3122

著者略歴

青井哲人（あおい・あきひと）

明治大学理工学部建築学科教授、建築史・建築論
1970年生まれ。1995年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程中退。神戸芸術工科大学助手、人間環境大学准教授を経て、2008年明治大学理工学部建築学科准教授、2017年同教授。博士（工学）。主著に『彰化一九〇六年——市区改正が都市を動かす』（アセテート）、『植民地神社と帝国日本』（吉川弘文館）、『世界建築史15講』（共著、彰国社）『津波のあいだ、生きられた村』（共著、鹿島出版会）、『日本都市史・建築史事典』（共著、丸善）など。

当社webサイトでは、本書の試し読み記事や著者インタビュー動画もご覧いただけます。

